

時間割コード	G2B60521	開講年度	2026				
授業題目	ニュースポーツ					担当教員	古屋 顕一
英文授業名	New Sports						
単位数	1	講義期間	後期	曜日・時限	木曜・4時限	対象学生	全
講義室	共通教育第1体育館		授業形態	実技	遠隔授業科目	備考	【地域】
信大コンピテンシー 該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	大学D P						
	持続可能な社会を実現するための課題に取り組む力					さまざまなニュースポーツを体験することをおして、問題発見・課題解決能力を養うことができる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働、健康長寿						
(3)全学横断特別教育プログラム	ローカル・イノベーター養成コース						
(4)授業の概要	本授業は、さまざまなニュースポーツの体験をとおして、問題発見・問題解決能力を養うことを目的としています。具体的には、ニュースポーツの実践をとおして、他者と協働して何かを作り上げていくことの喜びを知り、将来的には誰もが喜びを感じられるような生涯スポーツへと繋げていくことを目的としています。						
(5)授業のキーワード	●ニュースポーツ ●問題発見・問題解決能力 ●生涯スポーツ						
(6)授業計画	本授業は、下記の予定で進めていきます。 ガイダンス（授業内容の説明・授業のルールなど） ワンバウンドフラバールバレー ワンバウンドフラバールバレー ソフトバレー ソフトバレー インディアカ インディアカ ペタンク（ボッチャ） ペタンク（ボッチャ） モルック モルック キンボール キンボール 変わり卓球 まとめと授業アンケートの実施 *これは、あくまでも例です。受講生と相談して決めていきたいと思います。						
(7)成績評価の方法	・ニュースポーツに必要な基礎的知識、技術、ルール・マナー、またその考え方における理解度・習熟度 70％ ・コミュニケーション能力・チームワーク力・リーダーシップ力・フォロアーシップ力を発揮することができたか 30％						
(8)成績評価の基準	秀：ニュースポーツにおける知識、技術・リーダーシップ力に長けている 優：ニュースポーツにおける知識、技術・フォロアーシップ力に長けている 良：ニュースポーツにおける知識、技術が水準よりやや上にある 可：ニュースポーツにおける知識、技術が水準にある 不可（D）：ニュースポーツにおける知識、技術が水準よりやや下にある 不可（F）：ニュースポーツにおける知識、技術が水準にない						
(9)事前事後学習の内容	フィールドワークの内容について学生自ら事前学習をしなければならない。 ニュースポーツができる「動ける体作り・筋力強化」を各自、事前・事後学習で図らなければならない。 この授業は45時間の学修を必要とする内容です。従って、15時間以上の時間外学習が必要となります。						
(10)履修上の注意	受講希望者はコンピューターによる抽選に応募すること。 チームを作り授業を進めていくため、無断欠席はチームのメンバーに迷惑をかけることになります。やむを得ない事情以外では欠席しないこと。 担当教員自己紹介 こんにちは、特任教員の古屋です。野外教育を専門としています。 具体的には、キャンプ、登山、山菜取り、きのこ採り、釣、加ッ、ヨット、ボードセリング、スノーバード、スキー、サイクリング、パラグライダー、ゲレンデスキー、クロスカントリースキー、スキー、スキーなど、ありとあらゆるアウトドア活動をたしなみます。 ひげを生やし見た目はゴツツイですが、決して怖くはありません。						

(11)質問,相談への対応	原則として木曜日昼休みをオフィスアワーとします。対応できるときは他の時間帯でも可。事前にメールにて確認してください。 メールアドレス：fken@shinshu-u.ac.jp
(12)授業への出席	全ての回に出席することを基本としますが、出席の基準は3分の2以上です。
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	病気などのやむを得ない理由での欠席については、要相談。課題を出します。
【教科書】	特になし
【参考書】	必要に応じて提示します。